コカ・コーラウエスト株式会社

会社説明会

2010年12月1日

コカ・コーラウエスト株式会社

証券コード 2579（東証1部、大証1部、福証）

目次

■ コカ・コーラ ・・・ 2
■ 日本のコカ・コーラシステム ・・・ 3
■ 役割り ・・・ 4
■ 経営理念 ・・・ 5
■ 業績 ・・・ 6
■ 飲料業界における環境の変化と生産量の推移 ・・・ 7
■ 2009年メーカー別出荷数量 ・・・ 8
■ ブランド ・・・ 9
■ コカ・コーラウエストグループ ・・・ 10
■ CSR推進活動 ・・・ 11
■ 連結貸借対照表、格付情報 ・・・ 16
■ 配当金 ・・・ 17
■ 株主優待制度 ・・・ 18
■ 投資と利回り ・・・ 19
■ 株価指数の推移 ・・・ 20
■ 目指す経営の姿 ・・・ 21
■ 総括（当社の強み） ・・・ 24
■ 参考資料 ・・・ 26

コカ・コーラ

- 「サンタクロース」
- 1886年アメリカ ジョージア州 アトランタで誕生（124周年）
- 「風と共に去りぬ」、「1996年夏季オリンピック」
- 「コカ・コーラ製品」は、全世界で1日に約16億杯消費（1杯＝約237ml）
- 「コカ・コーラのブランド価値」は、約6兆円
- 「コカ・コーラコンツアーボトル」、2008年5月立体商標
- 環境に配慮したコカ・コーラ独自の容器「ecoるボトル しぼる」

風と共に去りぬ

Atlanta 1996

アトランタオリンピック
1996年

立体商標が認められた
コンツアーボトル

簡単にしぼって
つぶせる容器

日本のコカ・コーラシステム

コカ・コーラシステムはフランチャイズシステム

フランチャイザー（本部）

ザ コカ・コーラカンパニー（米国）

・コカ・コーラ、ファンタ等の商標を所有している会社
・世界各国におけるコカ・コーラビジネスの戦略を立案

100％出資

日本コカ・コーラ社（日本）

・日本国内のボトラーに原液を提供する会社
・新製品の開発やマーケティング戦略を立案

原液を供給

フランチャイジー ※

※ 地域独占販売権を与えられた会社

ボトラー（日本に12社）

『地域に密着した経営』
・日本コカ・コーラ社より原液を購入し、それぞれの担当地域の中で製品の製造および販売を行う

役割り

- 日本最大、世界でも有数の規模を持つボトラー
  → 日本のコカ・コーラビジネスの変革をリード
- 日本で唯一、戦略的リーディングパートナー契約を締結
  → 日本コカ・コーラ社との商品協働開発／テストマーケティング

12月20日発売

コカ・コーラウエスト(株)

福岡県／大阪府／滋賀県／奈良県／和歌山県／京都府／兵庫県／岡山県／鳥取県／広島県／島根県／山口県／佐賀県／長崎県

※ 南九州コカ・コーラボトリング㈱はコカ・コーラウエスト㈱の持分法適用関連会社
（出資比率20%、2009年12月末時点）

経営理念

「お客さま」「株主のみなさま」「社会と環境」「社員」に、
高い価値を提供し続けてまいります

Coca-Cola West

－コカ・コーラウエストグループ経営理念－

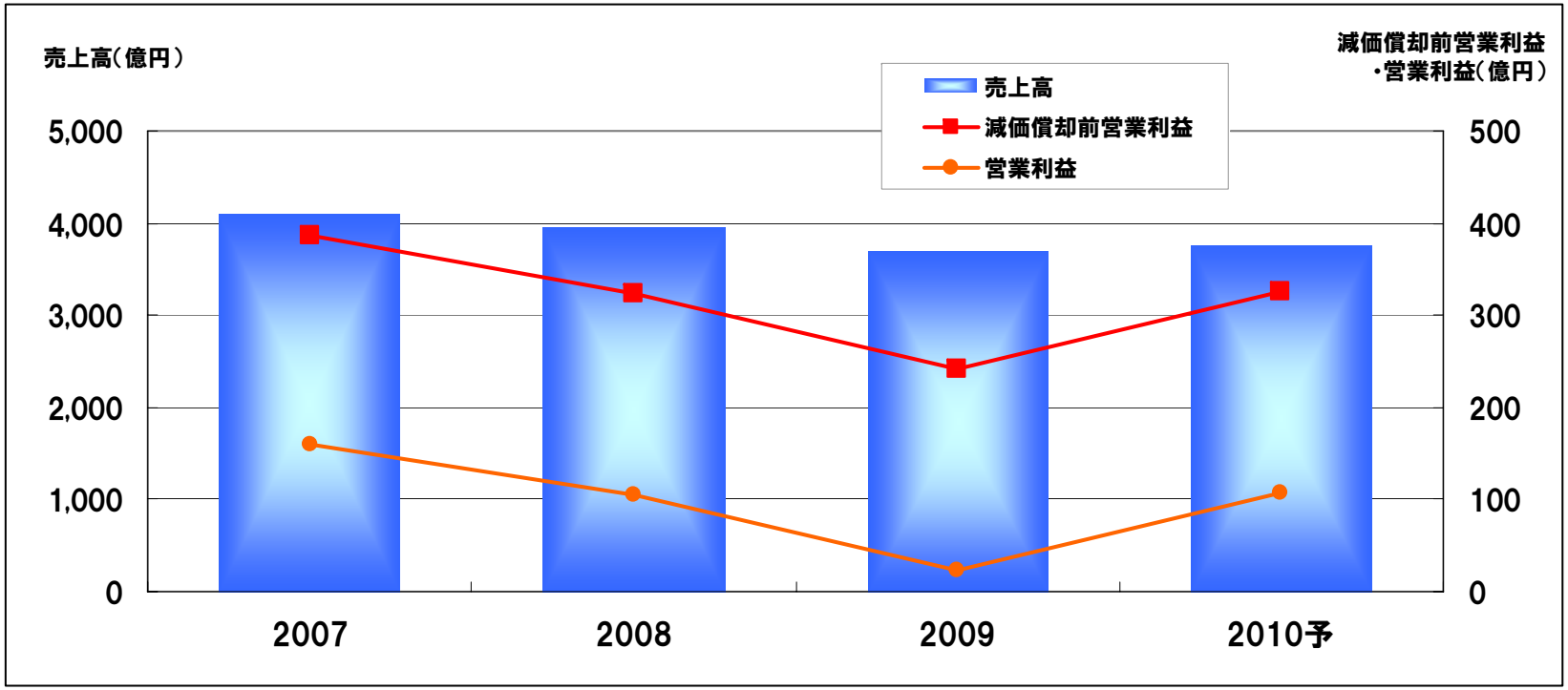
飲料ビジネスの未来を創造します

私たちは、

- お客さまに喜んでいただける商品・サービスをお届けします
- 社員一人ひとりの働きがいと生活を大切にします
- 継続的な成長により株主の信頼や期待に応えます
- 社会や環境とのつながりを育みます

業績

永続的な成長・発展に向けて、経営統合、M&A、業務提携



2006年7月1日
近畿コカ社と経営統合
（1999年以降、4ボトラー統合）

2010年10月1日
キューサイ㈱の株式
100％取得

飲料業界における環境の変化と生産量の推移

Coca-Cola West

- 飲料業界をとりまく環境は、50年間で大きく変化
- 消費者ニーズの多様化などにより、清涼飲料市場は拡大

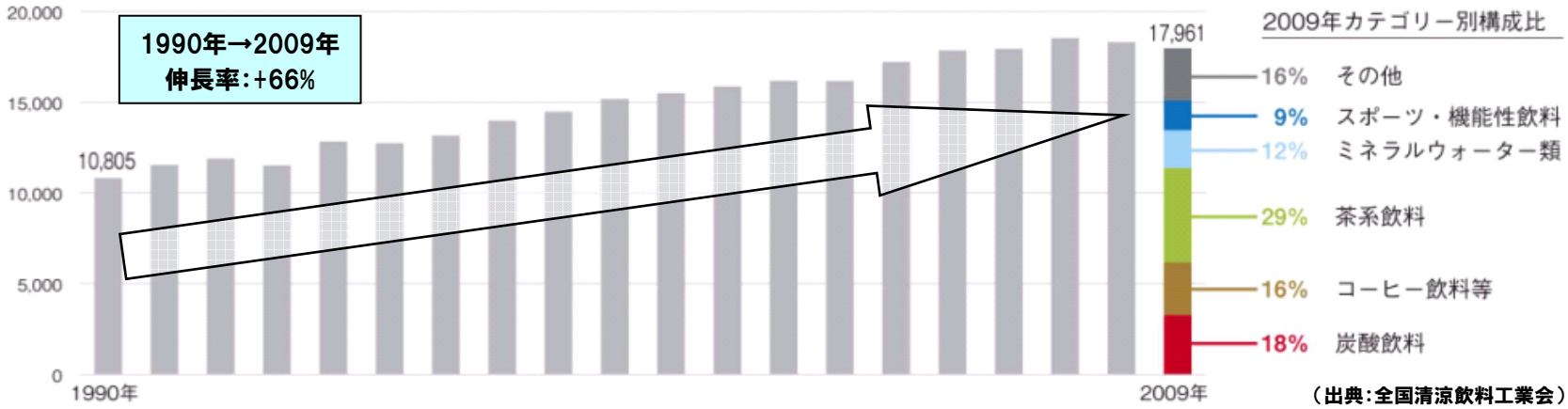
	創業期（1960年代）	発展～安定期（1970～80年代）	最近（1990年代～現在）
競　　合	・ラムネ・ジュース事業者 （比較的小規模／地域限定の生産者）	・大手ビールメーカー参入 ・特徴あるメーカーが規模拡大	・飲料事業分社化、専業化 ・大資本を背景とした提携・合併
カテゴリー	・炭酸	+果汁、コーヒー、スポーツ	+茶、ミネラルウォーター
パッケージ	・壜（190ml、1000mlなど）	+缶、大型PET	+小型PET、ボトル缶
チャネル	・独立小売店（酒屋、食料品店） ・喫茶、外食（喫茶店、食堂） ・その他（映画館、パチンコ店など）	・小売チェーン店（ｺﾝﾋﾞﾆ、ｽｰﾊﾟｰ） ・外食チェーン店（マクドナルド等） ・道路、交通マーケット、レジャー施設 ・自動販売機	・独立小売店の衰退 ・チェーン顧客の拡大

競争激化

多様化

多様化

● 過去20年間の清涼飲料の生産量推移（千kl）

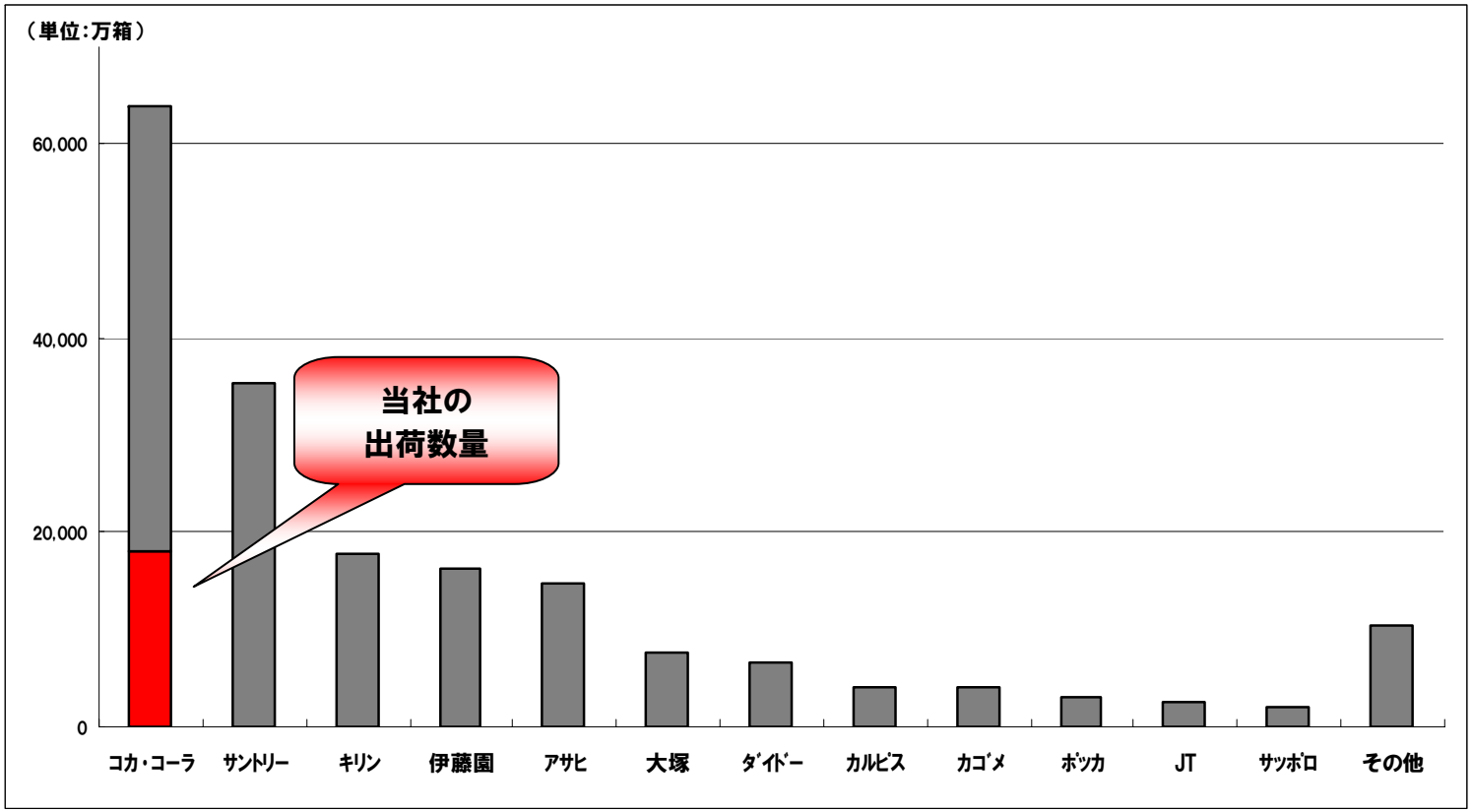


（出典：全国清涼飲料工業会）

2009年メーカー別出荷数量

- 清涼飲料業界No.1はコカ・コーラ（当社の出荷数量構成比は約30％）
- 当社は全国の人口構成比約30％の市場で大きな売上

【2009年メーカー別出荷数量】



（飲料ビジネスYearBook2009年および各社ホームページより作成）

ブランド

Coca-Cola West

- お客さまの多様なニーズに応える豊富なブランドを展開
- 最重点ブランドは各カテゴリーでマーケットシェアNo.1

【最重点ブランド】

炭酸飲料No.1

「コカ・コーラ」

「コカ・コーラ ゼロ」

「ファンタ」

缶コーヒーNO.1

「ジョージア」

ブレンド茶No.1

「爽健美茶」

スポーツ飲料No.1

「アクエリアス」

【重点ブランド】

「い・ろ・は・す」

コンビニエンスストア No.1

「綾鷹」

【その他ブランド】

コカ・コーラウエストグループ

グループとして、「調達」から「回収・リサイクル」まで一貫した体制

調達 → 製造 → 物流 → 販売・修理 → 回収・リサイクル

CSR推進活動

社会や環境とのつながりを、重要な経営課題として認識
→ 積極的に継続して活動

【事業活動を通じた取り組み】

・地域貢献型自動販売機
→ 売上の一部を地域のみなさまの活動資金に充当
（2001年に飲料業界で初めて導入）

ギラヴァンツ北九州（プロスポーツ支援）
どんぐりの苗を植えよう（環境支援）
わっしょい百万夏祭り（観光支援） など

・災害対応型自動販売機
→ メッセージの配信および
フリードリンクの操作可能

中間市役所
久留米市役所
大牟田市役所 など

【地球温暖化対策】

・省エネノンフロン自動販売機
→ 省エネ型自動販売機の積極導入
→ 消費電力量の削減に貢献

ノンフロン、ヒートポンプ、LED照明

CSR推進活動

【資源保全活動】

- 水源涵養林保全活動
- 空容器のリサイクル
- 廃棄自動販売機のリサイクル
  → 飲料メーカー初の自社廃棄処理施設稼動

“北九州さわやかリサイクルセンター”

■ 廃棄自動販売機リサイクルフロー図

CSR推進活動

【地域社会貢献活動】

・社会福祉支援

心身に障がいを持つ子供たちが、将来、社会自立するための一助となるよう支援しています

・スポーツ活動支援

次世代を担う子供たちがスポーツを通じて、協調性や忍耐力を養い、健全に成長することを願い、教材や環境を提供しています

・文化・教育活動支援

豊かな社会（心豊かな人材育成）づくりに貢献するため、本格的なコンサート、ミュージカルの開催や環境を提供しています

・地域大型イベント支援

行政や団体が主催する地域の大型イベントを地元企業として支援しています

“特別支援学校への教材贈呈”

“小学校への一輪車贈呈”

CSR推進活動

【地域社会貢献活動】

“市村自然塾九州の運営”

“さわやかクラシックコンサートの開催”

“さわやかファミリーミュージカルの開催”

“さわやかラグビークリニックの開催”

CSR推進活動

【地域環境推進活動】

・水資源保全活動

自然の恵みである水を利用する企業として、工場近郊の森林「さわやか自然の森」を保有し、枝打ちや間伐などの保全活動を実施しています

・地域美化活動

毎月、事業所周辺の道路・公共場所の清掃活動を実施しています

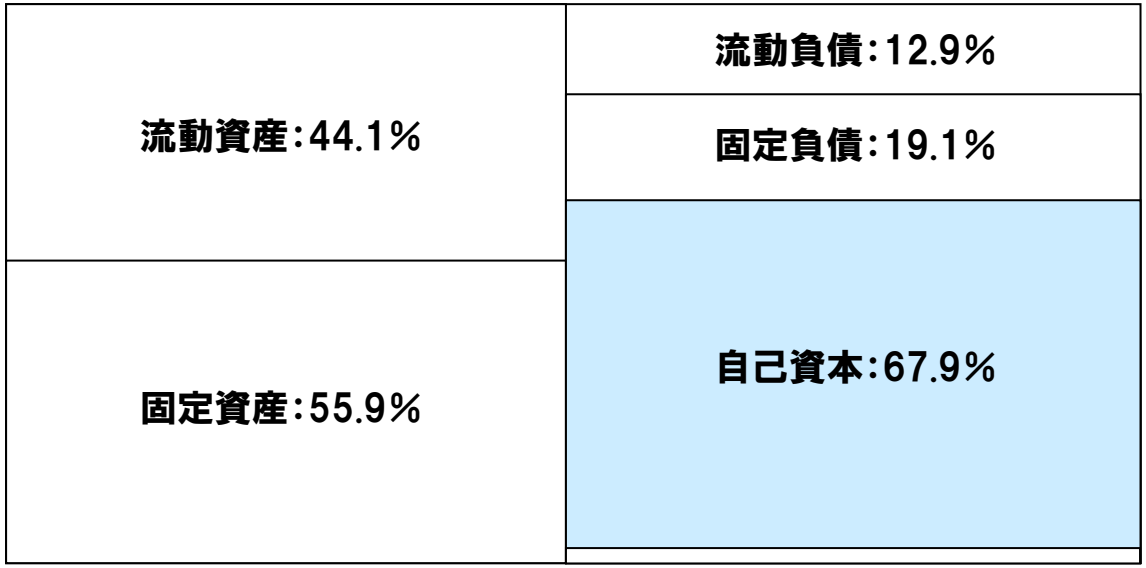
“水資源保全活動”

“地域美化活動”

連結貸借対照表 、格付情報

・良好な財務構成（自己資本比率 67.9%）
・格付け「安定的」

【連結貸借対照表（2010年9月30日現在）】



資産合計:330,460百万円　　負債純資産合計:330,460百万円

主な科目

社債　：　50,000百万円

資本金　：　15,231百万円
資本剰余金：109,072百万円
利益剰余金：126,277百万円
自己株式　：-25,760百万円

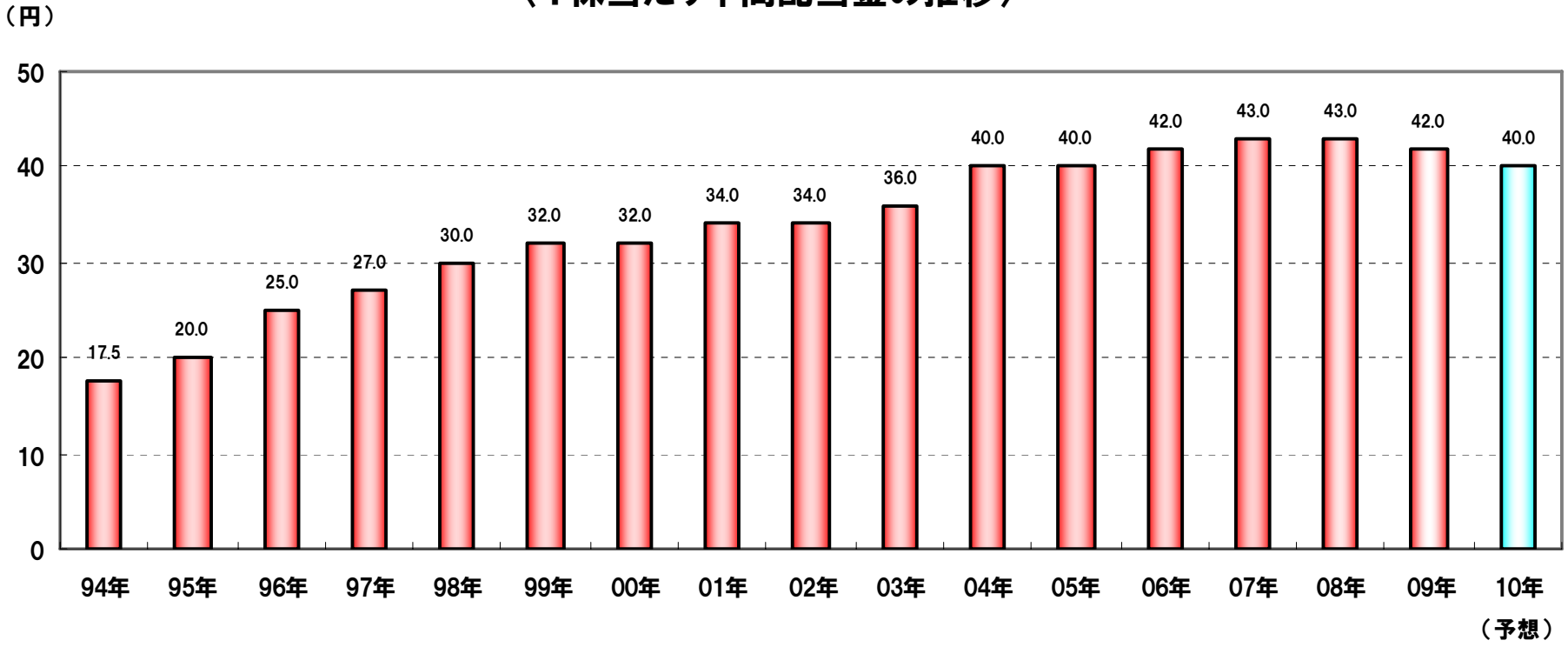
【格付情報】

日本格付研究所（JCR）長期優先債務格付（2010年8月30日現在）	AA-（安定的）
格付投資情報センター（R&I）長期優先債務格付（2010年10月4日現在）	A+（安定的）

配当金

安定的かつ継続的な配当を利益還元の基本とする

〈1株当たり年間配当金の推移〉



株主優待制度

・6月末と12月末の年2回実施
・コカ・コーラ社製品詰合せ、コカ・コーラウエストグッズ、寄付などから、保有株式数に応じて選べる制度

【株主優待 商品例】

コカ・コーラ社
製品詰合せ

コカ・コーラウエストグッズ（バスタオル）

寄付

コカ・コーラカレンダー

ポイント別 株主優待の種類
10ポイント： 1種類
30ポイント：23種類
40ポイント：23種類

贈呈基準		優待内容	贈呈時期
基準日	ご所有株式数		
6月30日 12月31日	100株以上　500株未満	株主優待ポイント　30ポイント贈呈（1,800円相当）	9月頃 4月頃
	500株以上　1,000株未満	株主優待ポイント　40ポイント贈呈（2,400円相当）	
	1,000株以上　5,000株未満	株主優待ポイント　60ポイント贈呈（3,600円相当）	
	5,000株以上	株主優待ポイント　120ポイント贈呈（7,200円相当）	

投資と利回り

・投資に適した単元株式　　：100株×1,412円＝141,200円
・魅力的な配当利回り／株主優待　：配当利回り 2.8%、株主優待 3,600円相当
　→（配当）年間40円×100株＝4,000円
　→（優待）1,800円相当×年2回＝3,600円相当

【参考：単元株式数を購入、1年間保有した場合の同業他社比較】

（単位：円）

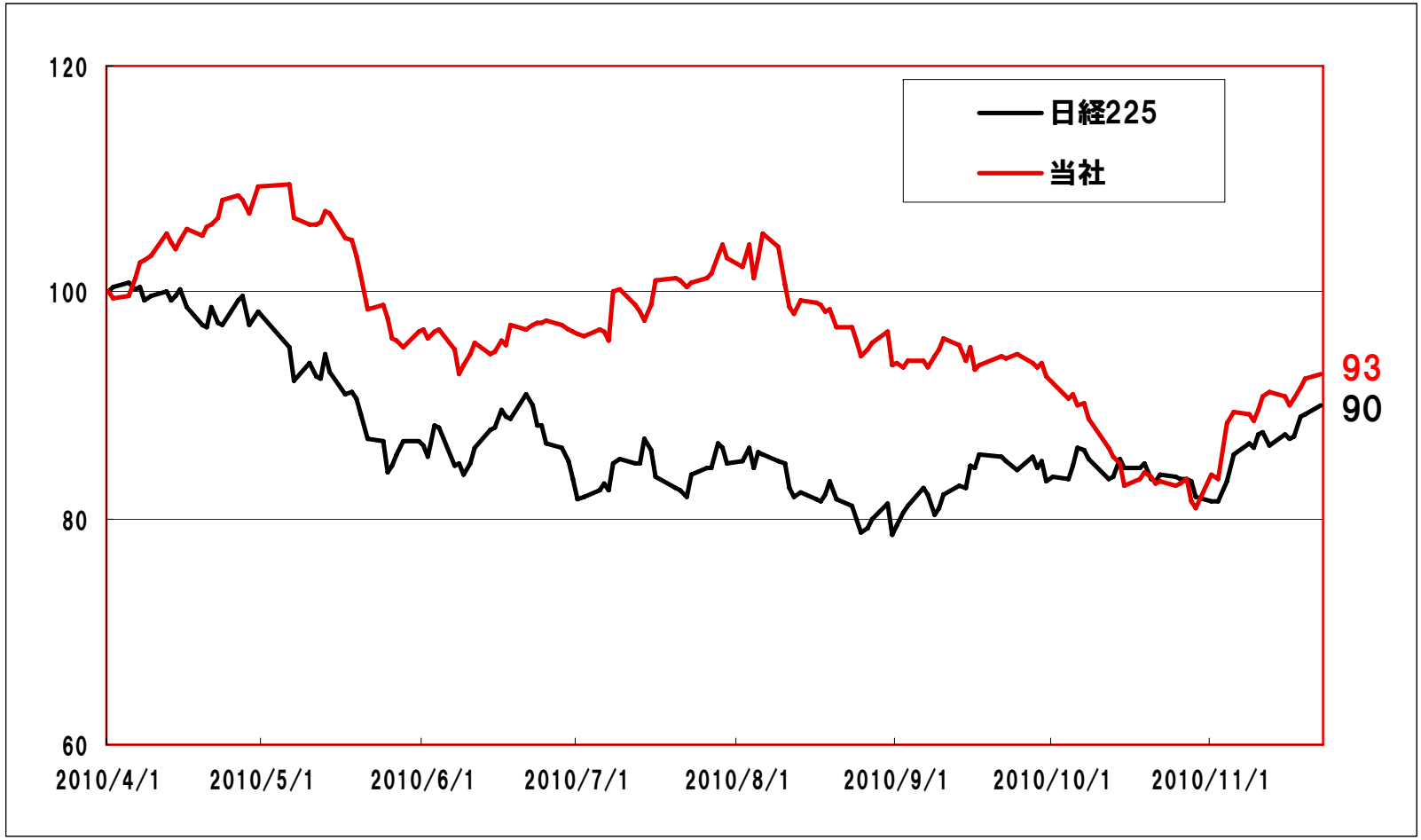
	投資金額	配当利回り	株主優待
当社	141,200	2.8%	3,600円相当
A社	134,100	2.8%	1,500円相当
B社	153,900	1.0%	2,000円相当
C社	283,300	1.8%	6,000円相当
D社	1,187,000	2.1%	3,000円相当
E社	168,000	1.3%	1,000円相当
F社	296,200	1.9%	4,000円相当

※ 投資金額は2010年11月22日の株価終値、
配当金は2010年8月31日現在の今期予想、
株主優待は2010年8月31日現在の各社ホームページ掲載内容より作成。

株価指数の推移

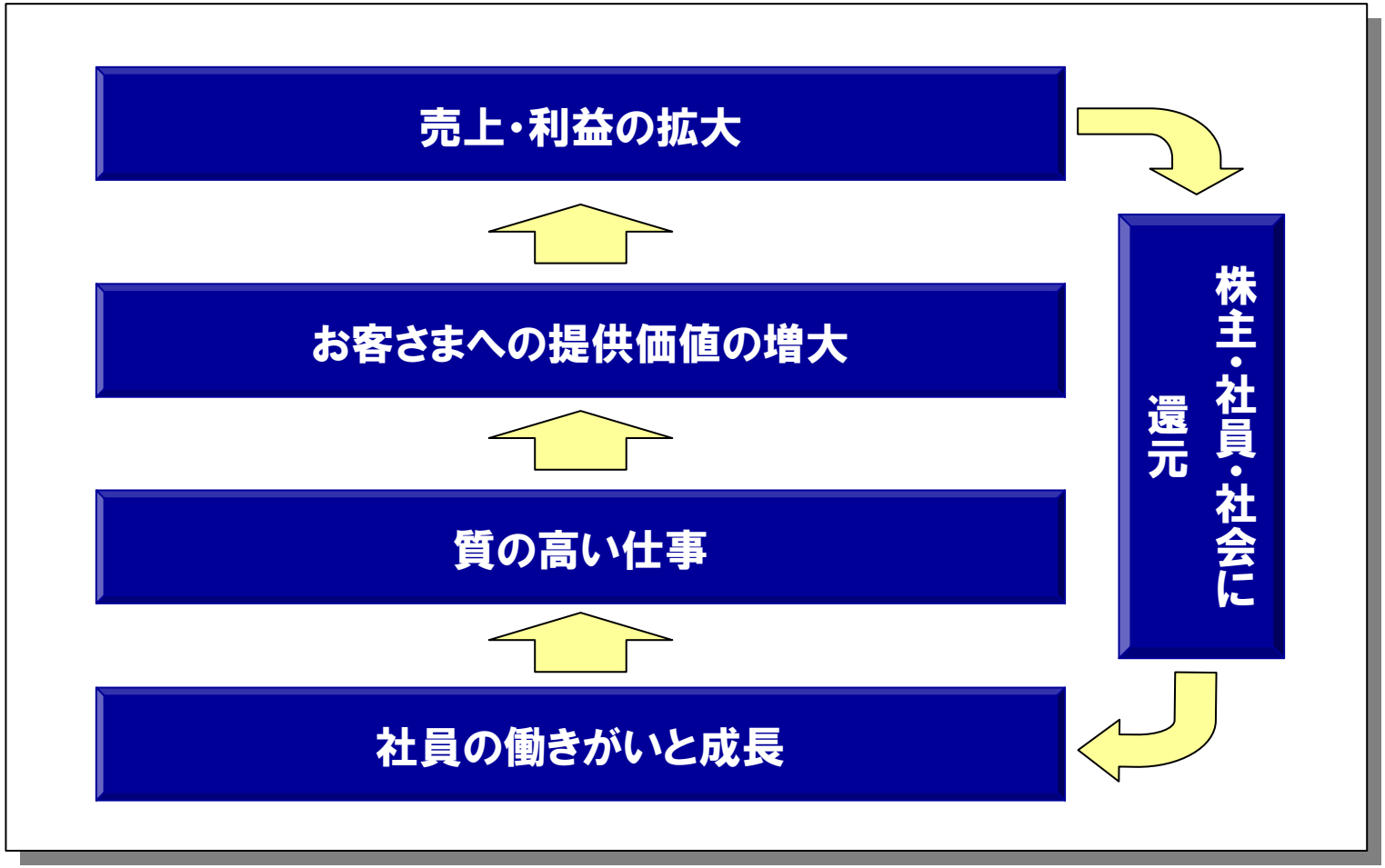
景気動向に比較的左右されない銘柄

【当社、日経225　株価指数の推移】※2010年4月1日の株価を100として算出　　2010年11月22日現在



目指す経営の姿

・まずは社員がやる気に満ちて活き活きと働き、成長を続けること
・このサイクルを徹底的に回すことが目指す経営の姿



トピックス

健康食品メーカー「キューサイ㈱」の株式を取得し、100％子会社化（2010年10月1日）

【キューサイ㈱の概要】

本社所在地	福岡市中央区草香江1-7-16
事業内容	健康食品・健康関連商品の製造販売

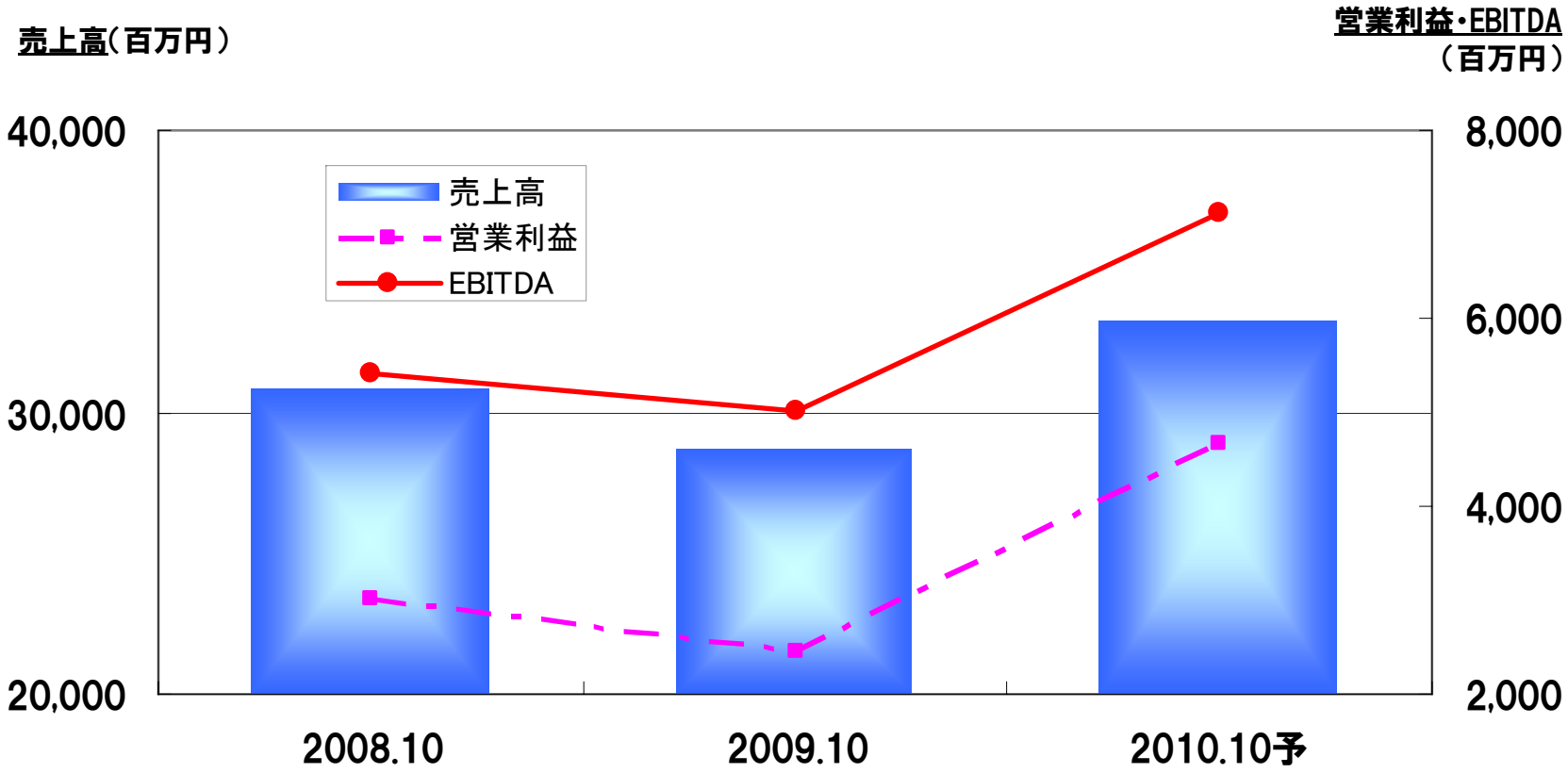
【キューサイグループの主要商品】

・ 健康食品・化粧品・特定保健用食品の分野に、それぞれ主力商品を保有

商　品	健康食品		化粧品	特定保健用食品	
	ヒアルロン酸 コラーゲン	粉末青汁	コラリッチ （基礎化粧品）	豆鼓エキス	ペプチドエース
売上高構成比	36％	19％	14％	21％	

【キューサイ㈱の業績推移】

・ 2010年は、主力商品のうち「ヒアルロン酸コラーゲン」と「コラリッチ」の売上が大きく伸長し、売上高増に寄与。営業利益・EBITDAも2008年・2009年実績を上回る見込み



総括（当社の強み）

1. 世界一のブランド「コカ・コーラ」

・企業ブランド価値は約6兆円（687億ドル※、11年連続1位） ※2010年 米インターブランド社調べ

・誕生して124年、世界200以上の国と地域で愛飲されている

・長い歴史と世界中での事業展開から培われたノウハウを持つ・・・成功／失敗事例が豊富

・豊富な商品ブランド「コカ・コーラ」、「ジョージア」、「爽健美茶」、「アクエリアス」、「ファンタ」等

2. 日本最大、世界有数のボトラー

・ザ コカ・コーラカンパニー／日本コカ・コーラの戦略的リーディングパートナー

・さまざまな取り組みの協働展開（商品開発、テストマーケティング等）

・マーケットシェアNo.1（炭酸飲料／缶コーヒー／ブレンド茶／スポーツ飲料）

3. 地域に密着した経営

・西日本（2府12県）を事業エリアとする会社

・コミュニケーションの推進（地域社会貢献活動／地域環境推進活動 など）

・地域で採用し、生活する社員

・地域の隅々まで網羅した販売ネットワーク

総括（当社の強み）

4. 健全な財務体質

・高い自己資本比率、高い信用格付け、安定配当

5. 進化・変革の精神

・新商品の発想（ジョージア、爽健美茶、紅茶花伝など）

・自動販売機チャネルの確立および、地域貢献型・省エネ型・キャッシュレス自動販売機の推進

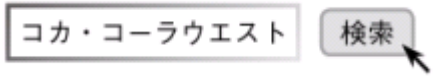
・永続的な成長・発展に向けて

→ 経営統合

→ Ｍ＆Ａ（キューサイ社、ウエックス社など）

→ 業務提携（南九州コカ・コーラボトリング社、アペックス西日本社）

ホームページ：個人投資家のみなさまのためのページ



・全上場企業ホームページ充実度ランキング調査

○ 2009年日興IR業種別ランキング（食品部門）： 1位（154社中）
○ 2009年日興IR総合ランキング（全部門） ：43位（3,779社中）

Merry Christmas & Happy New Year !

注意事項

本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としています。
当社株式への投資を推奨するものではありません。
また、本資料に掲載しております当社の計画および業績の見通し、戦略などは、資料作成時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、下記に掲げております様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

・市場における価格競争の激化

・事業環境をとりまく経済動向の変動

・資本市場における相場の大幅な変動

・上記以外の様々な不確定要素